

LOM広報誌 はすかつぶ

真に明るい未来の創造
— 共に歩む心を一つに —



第62代理事長

ひろさわ たかし
廣澤 隆

理事長挨拶

平素より、一般社団法人苦小牧青年会議所の運動と会務運営に対しまして圧倒的なご理解と、心強いご協力を賜り頂いていますこと、心より感謝御礼いたします。

本年度の全ての活動と運動が終盤戦を向かえ、無事滞りなく歴史の一ページを築くことが出来そうな事も、ひとえにOB諸先輩をはじめ、苦小牧青年会議所に関わる全ての皆様のお蔭様であります事は言うまでもありません、重ねてではありますが、厚く感謝御礼いたします。

本年は年度当初より、昨年創立60周年を迎えた事により、より新しい運動展開とより先駆的な活動に重点を置き進めさせて頂きました。まさに10年周期の運動指針を確固たるものにすべく、緊張感と付託を得るものとしての責任感を持ってしてそれにあたらせて頂きました。真に明るく豊かな苦小牧地域の創造は達成されませんでした、間違いなく次代に繋がる1年間であった事をしっかりと報告させて頂きたいと考えます。様々な問題やトピックスを通じてまちづくりの参加と連携、さらには考え気づく事を主眼に置き、会員以外の皆様と共に未来を描く下準備は達成されました。また、内部での新しいチャレンジも同時並行する事によって、自助努力は勿論、意識と責任の明確な向上はもとより、未来に繋がる人材の育成にも成功を取めることが出来ました。「我々の運動と活動は苦小牧地域に向け、その中で果たされる事が全て」まさしくそんな1年間でありました。

次年度以降も苦小牧青年会議所はその形や運動形態を進化させ、より明るく豊かな苦小牧が創造されるまで活動が続いて行きます。何卒よろしくご厚情に感謝いたします。

誠にありがとうございます御座いました。



全国大会
松山大会にて



八戸JCアイスホッケー
交流戦にて



地区大会
小樽大会にて



岩内スポーツ大会総合優勝!
2連覇達成!!

2014年12月2日発行

発行所: 一般社団法人 苦小牧青年会議所

苦小牧市表町1丁目1番13号

TEL 0144-34-3627

FAX 0144-32-9762

URL: <http://toma-jc.jp/>

E-mail: Info@toma-jc.jp/





第63代理事長予定者

あおやま なおき
青山 直樹

次年度理事長予定者挨拶

2015年度一般社団法人苫小牧青年会議所第63代理事長予定者として努めさせていただきます青山直樹でございます。OBの皆様には日頃より、当会の活動にご理解とご協力いただき心より感謝を申し上げます。本年7月の定時総会で承認いただいてから早いもので半年が経ちました。2015年まで予定者の段階ではありますが、様々な場面で多くの機会、気づきをいただき歴史と伝統のある苫小牧青年会議所、理事長のやりがいを感じさせていただいております。本年も残すところ1ヵ月を切り、年末へ向け大変忙しい状況ではありますが、2015年の活動へ向けメンバー一同、万全の準備を整えているところでございます。青年会議所の前身である東京青年商工会議所を創立した三輪善雄先輩が「祖国を救うのはわれわれ青年以外にはないのだ」というお言葉を残されております。当会議所を設立した先田秀雄先輩をはじめとする26名のチャーターメンバーも同じ思いであったと考えております。そこから脈々と紡がれ来年63年目を迎えますが、我々が活動出来るのはOBの皆様が一年一年しっかりと道筋をつけ、次の世代へ繋げ陰から支えていただいた賜物でありメンバー一同、心より感謝を申し上げます。2015年度もOBの皆様より受け継ぐ創始の精神と成長の機会を十分に活かし、夢を持ち地域に対して運動を行って参ります。最後になりますが先輩諸氏の皆様には、これまでと同様にご理解とご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。



北方領土現地視察大会にて



経済人育成委員会担当
8月例会にて



次年度理事長挨拶



次年度理事長お披露目

Tomakomai JC AWARD 2014

アワード褒章のご紹介



委員会賞



最優秀委員会賞
次世代政策委員会



優秀委員会賞
地域政策委員会



特別委員会賞
LOM運営委員会・交流渉外委員会



JAYCEE賞



最優秀JAYCEE賞
地域政策委員会
松岡 伸治



優秀JAYCEE賞
LOM運営委員会 経済人育成委員会 会員拡大委員会 交流渉外委員会
小林 史郎 田野 貴弘 高橋 幸久 加藤 啓綱



特別JAYCEE賞



新人賞



最優秀新人賞
次世代政策委員会
佐藤 天亮



優秀新人賞
経済人育成委員会 交流渉外委員会 次世代育成委員会 地域活性委員会
磯貝 大地 吉井 生 酒井 雅樹 玉川 健吾



特別新人賞



2003年度入会
いべ なおひろ
伊部 尚宏

●思い出

12年間の活動全てが良い思い出となりました。その中で、修練を感じた思い出第1位は、新年交礼会での所信表明。第2位は、理事会での初上程でした。

●メンバーに一言

今まで大変お世話になり、ありがとうございました。これからもJC活動できる幸せを感じて邁進してください。皆様の更なる飛躍を期待しています。

●あなたにとってJCとは?

JCに入会していなかったら今の自分はないとは言いませんが、精一杯やればやるだけ色々なものが増えていく「人生の宝箱」です。



2005年度入会
かねひさ とおる
金久 徹

●思い出

私はJCに入会し10年間、色々な事がありましたが、1番の思い出は委員長を受けた時の1年間の活動が心に残っております。その中で、担当の7月例会でダンスをした事、8月事業「逃走なう」の準備に夜な夜な委員会メンバーと作業していた時の事が今でも忘れられない思い出となっております。

●メンバーに一言

失敗を恐れず、色々な事にチャレンジしてほしいと思っております。大変な事や辛い事もあると思いますが、失敗を恐れず自身の成長だと思っ精一杯JC活動をして行って頂きたいと思っております。

●あなたにとってJCとは?

JCの活動は、私は学校の部活動の様な感じに思っております。先輩、同期、後輩と色々な人と出会い、勉強させてもらい、時間や苦勞を共に行動する事で、自分自身を成長させてくれる場所だと感じています。



2010年度入会
やまがた なおゆき
山縣 直行

●思い出

塾では生涯の仲間に出会え、お祭り委員会ではスタッフだけでなくLOM全体に支えられ多くの子供達の笑顔を見る事ができ、周年事業ではボランティアの皆様との絆を深め、一つの事業を成し遂げたという心に残る体験が出来ました。

●メンバーに一言

卒業する時に後悔しないJC活動をしてほしいです。あの時まだ頑張れた、あの役職を引き受ければよかったなど思わないように、120%自分の能力を発揮し、120%仲間の為に力を尽くせる活動をしてほしいです。

●あなたにとってJCとは?

共に苦勞をし、共に喜び合い仲間との絆を深める場所。絆を深めながら自己修練を続ける場所。自分が学ぼうとさえすれば先人の教えや仲間からの教え、様々な事を学ぶ事ができる素晴らしい場所だと思います。



2004年度入会
よしもと かずのり
吉本 一憲

●思い出

2004年度の入会以来多くの思い出がありますが、おまつり委員長を拝命していた時の港まつりでポプスレーから振り落とされ怪我をしてしまったことですかね。その時の怪我の跡が今でも残っております。

●メンバーに一言

入会した以上は、妥協せずやり遂げる強い信念と様々な形で協力していただく家族やメンバーそして関係団体に対する感謝の気持ちを常に持ち、失敗をおそれることなく常に前向きに活動して頂きたいと思っております。

●あなたにとってJCとは?

真摯な姿勢で向き合えば、多くの人々との友情を育むことが出来るだけではなく、自らを顧みる大変貴重な機会となり、自己の成長に繋がる人生の道場であると思っております。



2007年度入会
みのしま てつや
蓑島 徹矢

●思い出

入会してから今まで、多くの方々との出会い、沢山の学びを頂きました。また、多くの仲間も出来た事が一番の思い出です。

●メンバーに一言

一人では出来ない事が、仲間と一緒にだといろんな事が出来ます。仲間を大切に、辛い事・悲しい事を共に分かち合えるよう楽しんでください。

●あなたにとってJCとは?

いろんな体験が出来、まじめな時とふざけてる時のメリハリしっかり出来ている人。自分の為だけじゃなく、街の為に活動出来る団体。



2007年度入会
まつもと ひでひさ
松本 英久

●思い出

いろいろとありますが、地区の総務委員会統括幹事で出向した年、京都での第一回会員会議所会議に委員長が急遽欠席し、垂れ幕など一式見当たらず焦ったこと。東日本大震災時に、JCが率先して支援物資を送っていたこと。

●メンバーに一言

自分から積極的に行動すれば、それ以上のものが得られると思っております。何事にも恐れずチャレンジしてみてください。

●あなたにとってJCとは?

良くも悪くも様々なことが学べる、学び舎だと思います。異業種で、肩書も役職も様々で、そしてしがらみのない仲間だからこそ、本音でぶつかり合うことも出来ると思っております。



2010年度入会
おおとも ひさし
大友 尚

●思い出

転職により一度退会し、再入会してこっそりと卒業できること。卒業することがこんなに大変だとは思っていませんでした。あとは自分の結婚式ですね。最近見ないですが、余興で「若い我ら」斉唱。いい思い出です。

●メンバーに一言

昔のメジャーリーグのように剛速球だけでは通用しないと思うので、全ての活動において緩急をつけて柔軟に進んで欲しい。それと、いかなる時も「謙虚に!」。

●あなたにとってJCとは?

行くのが面倒な時もありますが、仲間の為に足を運びたいところ。行けば大変ですが、楽しく心が落ち着く場所です。それと、様々な分野で成長を促してくれた場所です。(成長出来たかどうかは不明です)

卒業生紹介



2004年度入会
まつだ たかゆき
松田 隆幸

●思い出

私はJC活動に少ない参加の中ではありますが、アカデミー塾の時にダンススタジオにて塾生皆で踊りを覚えて、岩内で行われたスポーツ大会で踊った事、またアカデミー例会で擬似理事会の寸劇をした事です。そしてもう一つは、岩村塾長がご卒業されてから100%例会を約束し、それを達成出来た事が何よりの思い出であり、最初で最後の約束となってしまった岩村先輩との思い出です。

●メンバーに一言

JCへの参加は自分のスタンスで活動をすると思います、しかし参加すればする程きっと良い仲間に出会い、その絆を深める事が出来るんだと思います。私ももう少し参加できる環境にあれば後悔しています。皆さんは後悔の無い様にこれからの活動に、出来る限り参加して下さい。今後のご活躍を応援させていただきます。今までありがとうございました。

●あなたにとってJCとは?

JCとは…自分を成長させてくれた場所ですかねえ…たくさんの人と出会えたり社会人として大切な事を教えてくれた。今となっては卒業出来たことは奇跡かな(笑)本当に今まで私が配属した委員会のスタッフにはご迷惑ばかりで申し訳なく思います。感謝しています。今日まで関わりのあった皆様、「ありがとうございました」。これからもよろしくお祈りします。



2008年度入会
ささき りょうすけ
佐々木 亮介

●思い出

2009年 久保塾の皆さんが結婚祝をしてくれた店に店員の服を来た嫁が酒を運んできたこと
2011年 予算を40万も残したダメダメ委員長だったこと
2012年 地区選に出向し稚内大会のために毎月1回稚内に行ったこと
2013年 60周年記念事業の全部!式典でのクールドは人生で一番緊張しました!

●メンバーに一言

参加しただけで得る物が大きいのがJCだと思います。中には色々な事情で毎回は参加できないメンバーもいます。それは仕方のないことです。大事なことは参加した時に一生懸命やるかどうかだと思います。JCできることに感謝できれば難しいことではないと思います。頑張ってください!

●あなたにとってJCとは?

先輩・仲間から刺激を受けて自分を発奮、成長させてくれる場所。



2012年度入会
かわむら たくじ
川村 卓司

●思い出

入会当初は青年会議所というものが、よくわからないで入会していました。その中で思い出といえばアカデミー塾です。樽前に登山するというので、メールが来ました。時間は2時となっていて、なんだ～昼間か～とよくみたら午前2時!天気は霧で雨で大変でしたが、一瞬のご来光も見ることが出来良き思い出となりました。

●メンバーに一言

約2年半の短い間でしたが、大変お世話になりました。卒業すると集まったりする機会がかなり減ってしまうと思いますがたま～にお誘いいただけると嬉しいです。

●あなたにとってJCとは?

人と人が繋がり、無限の可能性が広がり、絆を感じる事が出来る団体。また自分自身に変化し変化することを気づかせてくれるのがJCだと感じました。



2005年度入会
ひろさわ たかし
廣澤 隆

●思い出

様々な非日常的経験を沢山させて頂きました。その中でも同世代の苦小牧で活躍されています多くの男と知り合えたことは一番の思い出です。この年齢になって喜怒哀楽を一緒に恥ずかしくも無く分かち合えたことは、何よりの宝物です。

●メンバーに一言

余裕があって余暇でJCやってる奴は一人も居ない!今後の苦小牧地域の未来を先駆的に支援本格的に変革をもたらすことが出来るのは唯一JCだけ!必ずJCは社会を変える事が出来る!英知と勇気と情熱を持って…

●あなたにとってJCとは?

世間知らずの自分が、自身を客観的に評価し、JCを通して社会構造を知ることが出来た。入り口と出口が違う集まりだとは聞かされていたが、卒業年度にしてこれほどとは思わなかった。質問に一言で答えるならば「no JC,no life!」ありがとう御座いました。



2009年度入会
おおたき りきお
大滝 力緒

●思い出

毎年たくさんの思い出がありますが、LOMIはもちろん毎年地区・日本と出向させていただき日本中に生涯の友人ができたことです。

●メンバーに一言

参加し続けなければ何も得ることができません。いろいろなことも犠牲にしなければ参加できないこともあると思います。時間もお金もかかります。しかしそれ以上に得るものが絶対にあるはず。40歳までの限られた時間の中で後悔のない活動をおこなってください!

●あなたにとってJCとは?

たくさんの仲間が刺激しあい、その仲間のために活動できる団体その活動の中から自己の成長をさせてくれる場所です!



2009年度入会
すがの たくや
菅野 拓哉

●思い出

「久保塾」や「逃走なう」「60周年事業」などいろいろありますが、やっぱり今年の委員会の8月事業「苦小牧児童虐待防止市民集会」とまだ終わってない10月事業「JCTワイライトステイ」です。

●メンバーに一言

仕事・家庭・JCを並立させてください。大変な時は自分にしかできない方を優先してください。きっと仲間の誰かがあなたの代わりをしてくれます。そしてたまにいいので卒業生をかまってください。

●あなたにとってJCとは?

多くの人と知り合い、お酒の飲み方と飲ませ方を知り、自分の出来なさを思い知り、でもやれば少しは出来るようになることを知りそして、この生まれ育った苦小牧のために少しは力になれることを教えてくれた場所です。



2014年度入会
むかやま じゅんじ
向山 潤司

●思い出

今年1年全てが思い出なのですが、やはりアカデミー例会が一番です。地域政策委員会の例会も印象強いですね。後は函館と岩内の夜ですかね(笑)

●メンバーに一言

私自身は結構悔いを残すというか勿体なかったなと感じています。ですので皆さんも満足のいく卒業が迎えらるる様に頑張ってください。せっかくJCを知って入会したのでから。

●あなたにとってJCとは?

人生の課題のように思っていました。途中退会していた時もずっと心に引っかかっていました。出会いと気づきを得られた事、再入会させてくれた事感謝致します。

じゃがいもクラブ



日頃よりじゃがいもクラブの活動に対しましてご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。さて今年も4回の例会を終了しました。土屋先輩がじゃが選手権、年間最優秀賞のダブル受賞を成し遂げ、現役の部では吉本君が年間最優秀賞を受賞されました。また八戸JCとの交流戦は、たくさんのOBの皆様に参加して頂き、そして現役の皆様のご協力のもと、大変良い交流戦になりました。残念ながら八戸JCに惜敗しましたが来年は必ず勝利する事と思います。ゴルフを通じまして更に先輩諸氏の皆様と現役メンバーが良い交流が出来たと思います。ご入会くださいました皆様へ感謝いたします。また来年も変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。本当に「ありがとうございました。」

アイスホッケー同好会



師走の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。本年も、何事もなく八戸JC・札幌JCとの交流戦を終える事ができ、先輩諸氏並びに協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。さて、アイスホッケー同好会を構成する主要なメンバーが卒業を迎え、また来年は八戸の地で第64回全国大会が行われます。苫小牧は元気がないと思われないう、次年度は、他LOMの勢いに負けない新しい体制で活動と同好会員の拡大に努める所存です。

LOM出席率

<例会100%出席者(10月例会まで)>

阿部 和法・阿部 英樹・石黒 良一・磯貝 大地
 伊部 卓嗣・伊部 尚宏・上田 浩司・大関 正芳
 大滝 力緒・大槻 卓矢・鏡 吉伸・葛西 賢治
 春日 剛史・加藤 啓綱・金久 徹・亀谷 太郎
 木村 茂喜・久保 卓也・源津 善崇・小林 史郎
 酒井 雅樹・坂井 学・佐々木 真史・佐々木 亮輔
 佐藤 章一・佐藤 天亮・繁泉 一裕・菅野 拓哉
 高橋 智・瀧川 彰洋・玉川 健吾・丹治 秀章
 丹羽 圭司・内城 隆則・長岡 直人・錦戸 大輔
 西村 直行・早川 陽介・日沼 直竹・廣澤 隆
 廣島 貴典・福士 雄三・藤 淳一・藤原 剣哉
 牧野 厳志・松岡 伸治・向山 潤司・矢木 拓郎
 矢農 誠・吉井 生・吉本 一憲 (50音順)

<アテンダンス込み100%達成者(10月末まで)>

青山 直樹・大津山 泰斗・大友 尚・大西 奏介
 小野 昌人・片岡 圭介・片山 寿生・川村 卓司
 木村 明博・佐藤 千文・佐藤 尚輝・相馬 司
 高橋 幸久・田中 三紀・田中 雅也・田野 貴弘
 不川 順詞・松本 和浩・松本 英久・山縣 直行
 山本 康二・吉川 学・渡辺 秀敏 (50音順)

本年度は例年に比べ、例会出席率が約10%向上しました。

LOM運営委員会



委員長 たんじ ひであき
 丹治 秀章

会員間の情報共有や、地域と青年会議所との架け橋として会員名簿作成、LOM広報誌はすかつぶの発行、様々なツールを用いた広報等で対内外へ情報発信を行って参りました。また、例会、事業への出席率の向上を目的とした委員会幹事を集めた情報共有の場として幹事会を開催し、運営して参りました。委員会メンバーを始め、ご協力いただきました皆様のお力添えがあり、一年間の委員会運営を全うできました。ありがとうございました。



経済人育成委員会



委員長 いしぐる りょういち
石黒 良一

本年度、真の青年経済人の育成を目指し、4月に委員会メンバー自ら経営理念、財務についてお伝えし、10月事業では市内の青年経済人の皆様と共に、地域経済を支えて行く為に経営を学ばせて頂きました。一年間委員会メンバーと共に成長することが出来たこと、多くの皆様からご支援ご指導頂きましたことを心より感謝申し上げます。これからも地域経済人の一員として努力し活動して行きます。一年間本当にありがとうございました。



会員拡大委員会



委員長 にしきど だいすけ
錦戸 大輔

「1人1名の会員拡大」を合言葉に1年間活動して参りました。2月担当例会、拡大パンフレット作成事業、また入会候補者を対象とした例会見学会の実施、さらにはOBの皆様へ直接訪問し会員拡大のお願いをさせて頂くなど、様々な形で青年会議所運動の発信を行ないました。OBの皆様には心から感謝申し上げますと共に、来年度も引き続き現役メンバーを支えて頂きたくお願い申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



地域政策委員会



委員長 かがみ よしのぶ
鏡 吉伸

まちづくりには、昔も今も変わらず地域と市民の参加と連携が必要であると分かりました。地域のまちづくりへ沢山の人が興味をもって頂き、参加と連携の推進に繋げるため、IRを題材として運動展開し市民の意識醸成を図りました。そして、市民との触れ合いの中で青年会議所は地域の先駆者であり、シンクタンクであり続けなくてはならないと運動を振り返り強く感じました。ご協力頂いた皆様、一年間ありがとうございました。



同好会のご案内

ボウリング会議所



ボウリング会議所は毎月1回の例会を開催し、ボウリングを通して青年会議所OBの先輩と現役メンバーの交流を図ってまいりました。また、年に2回「ボウリングフェスティバル」で豪華な景品を用意したチーム戦を執り行い、勝負に対する熱い思いと団結力で日々活性化されていきました。ボウリングのイメージ通り、参加者全員が楽しく交流できる場です。新入会員随時募集中です!!!

サッカー同好会



本年サッカー同好会は、昨年同様予選も突破しあと一步のところまで優勝を逃すといった非常に残念な結果で終わってしまいましたが、水越君の2年連続得点王、そしてノルディーア特別賞に磯貝君が選ばれるなど、チームとしてのレベルが上がってきた一年だったと思います。JCのサッカーは交代が自由にできますので体力に自信のないかたでも安心です。是非とも一緒に優勝を目指して汗をかいてみませんか。皆さんの参加お待ちしております。

次世代政策委員会



委員長 やの まこと
矢農 誠

本年度は児童虐待防止という視点で取り組ませていただいた一年でした。特に8月31日の児童虐待防止市民集会ではPTA連合会や民生委員協議会などといった子どもに関わる諸団体と実行委員会を組ませていただき、950名の参加者と共に副知事への要望書の提出、政策提言や基調講演を通じた児童虐待防止の政策推進と市民意識醸成を図る事業を行うことができました。ご協力をいただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。



交流渉外委員会



委員長 かせい けんじ
葛西 賢治

本年度交流渉外委員会では、新年交礼会に始まり、ボウリング会議所、八戸青年会議所や札幌青年会議所との交流戦、道南エリアスポーツ大会、OB交流会、そして卒業式と各会事業を展開して参りました。先輩諸氏の皆様にはこの一年間、各所にて数々のアドバイスやご協力をいただき、大変御世話になりました事、この場をお借りしまして厚く厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



地域活性委員会



委員長 おおつやま たいと
大津山 泰斗

スケートまつり、港まつりに参画し、市民と共に作り上げるお祭りとしてボランティアを募り運営致しました。当委員会はこの一年間を通し青年会議所がおまつりへのあり方を検証し、各実行委員会深く入り込んで行くことで、次年度以降のおまつり事業参画に求められる、市民や関係各所との絆を紡ぐ為の架け橋となれたと思います。関わって頂いた皆様には心からの感謝を申し上げます。



アカデミー塾



塾長 ふじ じゅんいち
藤 淳一

本年度、アカデミー塾では「JCの本質」を新入会員に伝えるべく、OBの皆様のお力をお借りしての講師塾会議等を含めた様々な事業を通して、会の存在意義や仲間意識の醸成を行いスキルアップさせていただきました。1年間の活動で主語が「自分」から「仲間」となった塾生13名が必ずLOMの活性化に繋がる新たな風になるとご報告させていただくと同時に、我々の活動を支えてくださった全ての方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。1年間本当にお世話になりました。



組織連携推進



議長 あおやま なおき
青山 直樹

本年は各委員会から副委員長、対外出向者を含む多くのメンバーで活動を行って参りました。年初から数々の会議を行い、例会へ向けて調査を行う段階で今、地域とLOMにとって北海道地区大会を誘致、開催することが必要であると結論付け活動を行い、目標を2018年に定め、地区大会に向けて何が必要なのか伝えて参りました。2015年から準備を行う予定となっております。OBの皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

